

# HistoCore Water Bath M

ウォーターバス



取扱説明書  
日本語

注文番号：14 0607 86108 - 改訂 C

本書は必ず装置と一緒に保管してください。  
装置のご使用前によくお読みください。

CE



本書に記載された情報、数値データ、注意事項、および数値の評価は、当該科学技術分野における最新の研究にもとづく科学知識と技術レベルを反映しています。

弊社は、当該技術分野における最新の発展に基づいて本書の内容を定期的に変更する義務を負わず、新しい変更内容についてユーザーに通知、コピー頒布等を行う義務を負いません。

万一、本マニュアルの内容に誤った記載や図面、説明図などが含まれていたとしても、個々のケースに該当する国内法規に照らして許容範囲とみなせる場合には免責とさせていただきます。特に、本書に記載の説明もしくは情報に従ったことに起因して万一経済的、物的損害が生ずる事態となったとしても、弊社はその責を負いません。

本書に記載の内容または技術詳細に関する説明、図面、説明図、およびその他の情報は、製品保証の対象ではありません。

保証は、当社と顧客との間に交わされた契約の条項にのみ従って行われます。

ライカは、製品の技術仕様ならびに製造プロセスを予告なく変更する権利を有します。これは、弊社の製品の技術およびその製造技術の継続的改良の余地を確保するためです。

本書は著作権法によって保護されています。本書に関わる一切の著作権は、Leica Biosystems Nussloch GmbH に帰属します。

本書に含まれる文章、図を含むあらゆる構成部分を、Leica Biosystems Nussloch GmbH の事前の書面による許可なく、印刷、コピー、マイクロフィルム、Web Cam、その他の方法（何らかの電子的システムやメディアを使用する方法を含む）によって複製することを禁じます。

製品のシリアル番号と製造年については、製品背面の銘板をご覧ください。



Leica Biosystems Nussloch GmbH  
Heidelberger Strasse 17 - 19  
69226 Nussloch  
Germany  
電話： +49 - (0) 6224 - 143 0  
ファックス： +49 - (0) 6224 - 143 268  
Web: [www.LeicaBiosystems.com](http://www.LeicaBiosystems.com)

Leica Microsystems Ltd. Shanghai 製造元

# 目次

---

<b>1. 重要情報</b> .....	<b>5</b>
1.1 命名規則.....	5
1.2 記号とその意味.....	5
1.3 装置の型式.....	8
1.4 使用目的.....	8
1.5 オペレーターの資格.....	8
<b>2. 安全にお使いいただくために</b> .....	<b>9</b>
2.1 安全上の注意事項.....	9
2.2 警告.....	10
2.2.1 装置本体のマーク.....	10
2.2.2 運搬と据え付け.....	10
2.2.3 装置の操作.....	11
<b>3. 装置のコンポーネントと仕様</b> .....	<b>12</b>
3.1 概要.....	12
3.1.1 装置コンポーネント.....	12
3.1.2 背面図.....	12
3.2 主な特長.....	13
3.3 テクニカルデータ.....	13
<b>4. 装置のセットアップ</b> .....	<b>15</b>
4.1 設置場所の条件.....	15
4.2 標準納入品・パッキングリスト.....	15
4.3 装置の開梱.....	16
4.4 装置のセットアップ.....	17
4.5 装置のスイッチオン/オフ.....	20
4.6 装置の移動.....	21
<b>5. 操作</b> .....	<b>22</b>
5.1 装置のコントロールパネル.....	22
5.2 温度の設定.....	23
5.3 スライドドライヤーの電源オン/オフ.....	24
<b>6. クリーニングとメンテナンス</b> .....	<b>25</b>
6.1 装置のクリーニング.....	25
6.2 ヒューズの交換.....	25
<b>7. トラブルシューティング</b> .....	<b>26</b>
<b>8. 注文情報</b> .....	<b>27</b>
<b>A1. 汚染除去証明書</b> .....	<b>28</b>
<b>A2. 保証とサービス</b> .....	<b>29</b>

## 1. 重要情報

### 1.1 命名規則



#### 注記

- ・本装置の正式名称は HistoCore Water Bath M です。この取扱説明書では、読みやすくするために単にウォーターバスと呼んでいます。

### 1.2 記号とその意味

記号：



記号名：

危険

説明：

その事象を回避しない場合、死亡または重症を招く差し迫った危険な状況を示しています。

記号：



記号名：

警告

説明：

この危険を回避しない場合、その結果死亡または重傷を負う可能性があります。

記号：



記号名：

注意

説明：

その事象を回避しない場合、死亡または重症に至る可能性のある危険な状態を示しています。

記号：



記号名：

注記

説明：

重要ではあっても何ら危険とは関連のない情報であることを示しています。

記号：

→  7-1

記号名：

位置番号

説明：

番号の振られた図の位置番号。赤の数字は、図中の位置番号を表します。

記号：

OFF

記号名：

ファンクションキー

説明：

装置で押す必要のあるファンクションキーは、グレーの太字、下線付きで表記されます。

記号：



記号名：

製造元

説明：

本製品の製造元を示します。

記号：



記号名：

製造日

説明：

本装置の製造日を示します。

記号：



記号名：

品番

説明：

本装置を識別するための製造元のカタログ番号を示します。

記号：




記号名：



シリアル番号

説明：

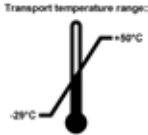
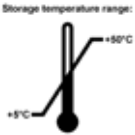


特定の装置を識別するための製造元のシリアル番号を示します。

# 1 重要情報

記号： 	記号名： 説明：	取扱説明書を参照 ユーザーが取扱説明書を参照する必要があることを示します。
記号： 	記号名： 説明：	注意 様々な理由で装置本体には表示できない警告文や注意事項などの重要情報について、ユーザーが取扱説明書を参照する必要があることを示します。
記号： 	記号名： 説明：	インビトロ診断用医療機器 本製品がインビトロ診断用医療機器であることを示します。
記号： 	記号名： 説明：	原産国 原産国の欄には、最後に製品の特性が変更された場所の国名が明記されます。
記号： 	記号名： 説明：	CE 適合 CE マークは、本製品が該当する EC 指令および規則の要件を満たしている旨の製造元による宣言です。
記号： 	記号名： 説明：	UKCA UKCA (UK 適合性評価済み) マークは、グレートブリテン (イングランド、ウェールズ、スコットランド) 市場で販売される商品のための新しい UK 製品マークです。以前に CE マークを必要としていたほとんどの商品が対象となります。
記号：  <small>Leica Microsystems (UK) Limited Larch House, Woodlands Business Park, Milton Keynes, England, United Kingdom, MK14 6FG</small>	記号名： 説明：	UKRP UK 責任者は、UK 以外の製造元の代理人であり、製造元の責任に関わる規定任務を遂行します。
記号： 	記号名： 説明：	CSA 記号 この製品は、CAN/CSA-C22.2 No. 61010 の要件を満たしています。
記号： 	記号名： 説明：	WEEE 記号 キャスター付きごみ箱に×印が付いたこの WEEE 記号は、本製品が廃棄時に分別回収の対象となる WEEE (廃棄電気・電子機器) に当たることを示します (ドイツ電気・電子製品法第 7 条)。
記号： 	記号名： 説明：	中国版 ROHS 中国版 RoHS (電気・電子機器に含まれる汚染物質の使用制限に関する指令) の環境保護マーク。この記号は、有害または危険な物質や成分が装置に含まれていないことを意味します。
記号： 	記号名：	交流

記号：	記号名：	規制順守マーク
	説明：	規制遵守マークは、機器がニュージーランドおよびオーストラリアの ACMA 技術基準、すなわち電気通信、無線通信、EMC および EME に準拠していることを示すものです。
記号：	記号名：	PE ターミナル
		
記号：	記号名：	<b>オン</b> (電源)
	説明：	電源がオンの位置にあります
記号：	記号名：	<b>オフ</b> (電源)
○	説明：	電源がオフの位置にあります
記号：	記号名：	注意、高温面
	説明：	この記号は装置の動作中に高温に達する表面部位を示します。火傷をしないようにするために、直接接触しないようにしてください。
記号：	記号名：	注意、感電の危険
	説明：	AC コンセントコネクタを誤って操作すると、感電の危険があります。誤操作は避けてください。
記号：	記号名：	割れ物につき取扱い注意
	説明：	包装品の中身は壊れやすいため、取り扱いには十分注意してください。
記号：	記号名：	湿気厳禁
	説明：	包装品は、乾燥した環境で保管してください。
記号：	記号名：	積み重ね限度
	説明：	積み重ねても良い同一の箱の最大数。"6" は許される箱の数を表します。
記号：	記号名：	天地無用
	説明：	包装品の正しい直立位置を示します。

# 1 重要情報

<b>記号：</b> 	<b>記号名：</b> 輸送温度限界 <b>説明：</b> 包装品の輸送時に許容される温度範囲を示します。
<b>記号：</b> 	<b>記号名：</b> 保管温度限界 <b>説明：</b> 包装品の保管時に許容される温度範囲を示します。
<b>記号：</b> 	<b>記号名：</b> 輸送および保管時の湿度限界 <b>説明：</b> 包装品の保管および輸送時に許容される湿度範囲を示します。
<b>記号：</b> 	<b>記号名：</b> リサイクル記号 <b>説明：</b> 適切な設備が存在する場合にリサイクル可能な品目であることを示します。

## 1.3 装置の型式

本取扱説明書に記載の全ての情報は、表紙に示されている装置の型式にのみ適用されます。装置のシリアル番号を示す銘板は、装置背面に貼付されています。

## 1.4 使用目的

HistoCore Water Bath M は、スライドドライヤーと組み合わせたウォーターバスで、病理医による組織学的医療診断、例えば癌診断のために使用される切断された組織サンプル上の浮遊スライドリボンを平らにし、その後水分を蒸発させるために特別に設計されています。

HistoCore Water Bath M はインビトロ診断用に設計されています。



### 警告

- 装置を上記以外の目的で使用することは、適応外使用と見なされます。これらの指示を守らなかった場合は、事故や人身傷害を引き起こしたり、装置、アクセサリ、または試料の破損につながる恐れがあります。適切かつ目的に合った使用には、全ての検査およびメンテナンスに関する指示の順守、ならびに取扱説明書に記載の全ての指示の順守も含まれます。

## 1.5 オペレーターの資格

- HistoCore Water Bath M は、訓練を受けた検査技師以外操作してはなりません。本装置は業務専用です。
- 本装置の操作員に指名された全ての検査技師は、操作を行う前に、本書をよく読んで本装置の技術的特徴の全てに精通しておかなければなりません。



## 2. 安全にお使いいただくために

### 2.1 安全上の注意事項

この取扱説明書には、本装置の安全操作とメンテナンスに関する重要情報が記載されています。

取扱説明書は、製品の重要な一部であり、装置を作動させて使用する前に精読する必要があります。また必ず装置の近くに保管してください。

本装置は、測定、制御、および実験室用の電気機器に適用される安全要件に従って製造され試験されています。

この状態を維持し、安全操作を確保するためには、ユーザーは本書に記載の全ての注意事項と警告を順守する必要があります。

この章に示す安全上の注意事項は、常に順守する必要があります。すでに他のライカバイオシステムズ製品の使用および操作に慣れている方であっても、必ずこれらの注意事項をお読みください。

取扱説明書の内容は、必要に応じて、装置を使用する国の事故防止および環境安全性に関する現行規定と適切に組み合わせる必要があります。



#### 警告

- 本装置およびアクセサリに取り付けられている保護装置は、取り外したり変更したりしてはなりません。ライカバイオシステムズ公認の資格のあるサービス担当員にのみ、本装置の修理と内部コンポーネントへのアクセスが許されています。
- 本装置を修理のためライカバイオシステムズに返送する際は、事前に適切な方法で清掃および汚染除去を行わなければなりません（→ ページ28 - A1. 汚染除去証明書）。



#### 注記

適用規格に関する最新情報については、下記弊社ウェブサイトの CE 適合宣言書と UKCA 証明書を参照してください。

<http://www.LeicaBiosystems.com>

- HistoCore Water Bath M は、IEC61326-2-6 のグループ I クラス B 機器のエミッション要求、および IEC61326-2-6 の専門的医療施設環境で使用することを意図した機器のイミュニティ要求に適合していることを示します。
- 当機器は、専門的医療施設での使用を想定して設計されています。在宅医療環境で使用すると、誤った動作をする可能性があります。電磁妨害によって性能が影響を受けていると思われる場合、機器と妨害源との間隔を広げることで正しい動作が回復することができます。
- 当機器を操作する前に、電磁環境を評価する必要があります。
- 強力な電磁波の発生源（例：シールドのない意図的な RF 源）の近くでこのデバイスを使用しないでください。正常な動作に支障をきたす可能性があります。
- 装置をコンセントに接続する前に、実験室の電源条件が装置の銘板に記載されている値に適合していることを確認してください。
- 電力ケーブルを設置する際は、いかなる時も装置の高温になる面に接触しないように取り回してください。

## 2 安全にお使いいただくために

- ・本装置は屋内でのみ使用できるように設計されています。
- ・点検修理の作業中は、常に装置のスイッチを切るとともに、電源コトからプラグを抜いてください。
- ・動作中の装置表面は、非常に熱くなる可能性があります。

### 2.2 警告

製造元によって本装置に設置された安全装置は、事故防止の基本を成すものにすぎません。本装置を安全に操作することは、何よりも装置の所有者と、操作や点検修理を行う担当者の責任です。

本装置の無故障動作を確保するためには、必ず以下の指示と警告に従ってください。

#### 2.2.1 装置本体のマーク



##### 警告

装置上のマークや警告表示に記載の正しい操作方法（取扱説明書に規定されていること）を守らない場合

**重大な人身事故を招いたり、装置、アクセサリ、または試料が破損したりする危険があります。**

- ・マークが付いた製品を操作または交換する際は、それらのマークに注意を払うとともに、取扱説明書に記載の操作指示を厳守するようにしてください。

#### 2.2.2 運搬と据え付け



##### 危険

危険物質（可燃性または引火性の物質）を本装置付近に保管したり、ウォータートレイに入れたりした場合

**危険物質の爆発や発火によって、人が負傷する危険があります。**

- ・装置の近くに可燃性の物質や引火性の物質を保管してはなりません。
- ・非引火性の液体（できれば蒸留水）のみを使用してください。



##### 警告

ユーザーがウォーターバスやスライドドライヤーを持ち上げているときに、落としてしまった場合

**装置やアクセサリがユーザーに倒れかかったり落ちたりして、負傷する危険があります。**

**壊れたかもしれない装置またはアクセサリで切片を準備すると、組織を損傷させる恐れがあります。**

- ・装置を持ち上げる際は、十分に注意してください。



##### 警告

スライドドライヤーが接続された状態でウォーターバスを移動させた場合

**接続ケーブルが破損して、スライドドライヤーがユーザーの上に落ちる危険があります。**

- ・ウォーターバスを移動させる際は、事前にウォーターバスからスライドドライヤーを取り外してください。

**警告**

内部に高温の水が入っている状態で、ウォーターバスを移動させた場合  
**水が飛び出して、人が滑って転んだり、高温水でやけどする危険があります。**

- ・加熱を止めて装置を空にしてから、移動してください。

**警告**

他の装置と一緒に本装置のプラグを電源タップに差した場合  
**不安定な電流/電圧が原因で装置が誤作動し、組織を損傷させる恐れがあります。**

- ・電力ケーブルの設置に電源タップは使用しないでください。
- ・本装置は必ずアース付き電源コンセントに接続してください。

**2.2.3 装置の操作****警告**

ユーザーが切片を浮かべたり取り出したりする際に、誤って高温水に触れた場合  
**高温水でやけどする危険があります。**

- ・操作中は高温水に十分注意してください。

**警告**

ユーザーが誤ってスライドドライヤーの高温面に触れた場合  
**熱くなっているスライドドライヤーでやけどする危険があります。**

- ・操作中はスライドドライヤーの高温面に十分注意してください。

**警告**

水を交換するためにウォータートレイを取り外したとき、ウォーターバスの底部が露出した場合  
**ウォーターバス底部の高温面でやけどする危険があります。**

- ・水の交換中は、ウォーターバス底部の高温面に十分注意してください。

**警告**

装置のスイッチを切って電源プラグを抜くことなく、ヒューズを交換した場合  
**電気ショックによって人身事故を引き起こす危険があります。**

- ・ヒューズを交換する際は、事前に装置の電源スイッチを切るとともに、電源コンセントからプラグを抜いてください。ウォータートレイの水を捨てます。

**注意**

取扱説明書の「テクニカルデータ」の節に記載の仕様とは異なる、不正なヒューズを使用した場合  
**不正なヒューズでは装置が正常に機能しないため、診断が遅れる恐れがあります。**

- ・取扱説明書の「テクニカルデータ」の節に記載の仕様に一致したヒューズのみを使用してください。

## 3 装置のコンポーネントと仕様

### 3. 装置のコンポーネントと仕様

#### 3.1 概要

##### 3.1.1 装置コンポーネント



図 1

- |   |          |   |                            |
|---|----------|---|----------------------------|
| 1 | ウォーターバス  | 3 | コントロールパネル                  |
| 2 | ウォータートレイ | 4 | スライドドライヤー<br>(オプションのアクセサリ) |

##### 3.1.2 背面図



図 2

- |   |          |   |                        |
|---|----------|---|------------------------|
| 1 | 主電源差し込み口 | 4 | LED 照明                 |
| 2 | ケーブルコネクタ | 5 | 熱センサー (ウォータートレイの下)     |
| 3 | ヒューズ 2 個 | 6 | ウォータースロット (ウォータートレイの下) |

### 3.2 主な特長

HistoCore Water Bath M :

- ・ 取り外し可能なウォータートレイ
- ・ 視認性と対比性に優れた黒色のウォータートレイ
- ・ 視認性と対比性を向上させる補助照明
- ・ コーティングの耐久性を高める陽極酸化処理
- ・ ウォーターバスとスライドドライヤーの両方の制御と表示が可能な OLED タッチパネル
- ・ 操作が簡単で覚えやすい直感的なユーザーインターフェース
- ・ 寸法 (W x D x H) : 280 mm x 280 mm x 105 mm
- ・ 加熱温度 : 最大 60 °C
- ・ ウォータートレイの寸法 (W x D x H) : 230 mm x 180 mm x 53 mm
- ・ 加熱温度 : 20分±10%、(220V)、標準容量の水を満たした状態で、15 °Cから45 °Cまで、周囲温度18 °C

HistoCore Slide Dryer :

- ・ HistoCore Water Bath M 用のアクセサリ
- ・ コンパクトな設計、小さな設置面積
- ・ 最大 30 スライドの収納が可能
- ・ 視認性と対比性に優れた黒色のラック
- ・ スライドの取り出しと配置が容易な 45°傾いた加熱用ラック
- ・ HistoCore Water Bath M を介して電源が供給されるため、電源コンセントが不要。  
ウォーターバス 1 台で、最大 2 台のスライドドライヤーに電源供給可能
- ・ スライドドライヤー 2 台をウォーターバスで接続する場合、延長ケーブルの注文が必要です
- ・ 寸法 (W x D x H) : 200 mm x 280 mm x 98 mm
- ・ 加熱温度 : 最大 75 °C

### 3.3 テクニカルデータ

#### 装置の識別番号

型式名	HistoCore Water Bath M
型式番号	140607020C1 (ウォーターバス) 140607010C0 (オプションのアクセサリ : スライドドライヤー)

#### 電氣的仕様

定格電圧	100 ~ 120VAC/220 ~ 240VAC
定格周波数	50/60Hz
主供給電圧の変動	+/-10%
消費電力	・ 最大 960W (100 ~ 120VAC の場合) ・ 最大 1200W (220 ~ 240VAC の場合)
主電源入力ヒューズ (F1)	10A 250VAC

### 3 装置のコンポーネントと仕様

#### 寸法および重量仕様

動作モードでの外形寸法 (幅×奥行×高さ、mm)	・ ウォーターバス：280 x 280 x 105 ・ スライドドライヤー：200 x 280 x 98
梱包状態での外形寸法 (幅×奥行×高さ、mm)	415 x 395 x 215
本体重量 (アクセサリを含まない場合、kg)	3
本体重量 (アクセサリを含む場合、kg)	・ ウォーターバス：3 kg ・ スライドドライヤー：3 kg
梱包時の装置重量 (kg)	4

#### 容量

ウォータートレイ	最大 2 L
----------	--------

#### 環境仕様

動作高度 (海拔) (最低/最高)	2000 m 以下
温度 (動作時) (最低/最高)	15 ~ 40°C
相対湿度 (動作時) (最低/最高)	20% ~ 80%
温度 (輸送時) (最低/最高)	-29°C ~ 50°C
温度 (保管時) (最低/最高)	5°C ~ 50°C
相対湿度 (輸送/保管時)	20% ~ 85%
壁までの最小距離 (mm)	10 cm
BTU (J/s)	4094 BTU/h

#### 排出物と境界条件

過電圧 IEC 61010-1	II
汚染度 IEC 61010-1	2
保護手段 IEC 61010-1	I
保護等級 IEC 60529	IP20
熱放射	<4094 BTU/h
EMC クラス	クラス B

#### 電気的接続およびインターフェース

主電力供給 *1	100 ~ 120V 8A 最大/220 ~ 240V 5A 最大
スライドドライヤーに対する信号用コネクタ *2	3.3V DC 最大
スライドドライヤーに対する電力供給 *2	100 ~ 120V 4A 最大/220 ~ 240V 2A 最大 (ラベルなし)

#### その他の仕様

CE	承認済
CSA	承認済

## 4. 装置のセットアップ

### 4.1 設置場所の条件



#### 危険

危険物質（可燃性または引火性の物質）を本装置付近に保管したり、ウォータートレイに入れたりした場合

**危険物質の爆発や発火によって、人が負傷する危険があります。**

- ・ 装置の近くに可燃性の物質や引火性の物質を保管してはなりません。
- ・ 非引火性の液体（できれば蒸留水）のみを使用してください。

- ・ 電力ケーブルを設置する際は、いかなる時も装置の高温になる面に接触しないように取り回してください。
- ・ 電源コンセントは装置の近くで容易に手が届くところになければなりません。
- ・ 電源コンセントは、電力ケーブルの長さを超えない距離になければなりません。延長ケーブルの使用は禁止です。
- ・ 支持台は、ほとんど振動が生じないもので、装置の重量に十分耐える積載能力と剛性を有しなければなりません。
- ・ 衝撃、強い直射日光、過度な温度変動は避けてください。
- ・ 本装置は適切な電源コンセントに接続する必要があります。必ず同梱の電力ケーブルを使用してください。同梱のケーブルは現地の電源電圧に適合しています。

### 4.2 標準納入品 - パッキングリスト

数量	部品名	注文番号
1	HistoCore Water Bath M	14 0607 020C1
1	装置本体	14 0607 02800
1	ヒューズセット	14 6000 05950
1	取扱説明書、日本語	14 0607 86108

付属の現地向け電源コードが損傷または不足していた場合は、お近くのライカ代理店までご連絡ください。



#### 注記

- ・ 納品が完了しているかどうかの確認のため、納入された全ての品目をパッキングリストと注文書に照らしてチェックしてください。万一相違があった場合は、速やかに担当のライカバイオシステムズの営業所までご連絡ください。

## 4 装置のセットアップ

### 4.3 装置の開梱

1. ダンボール箱を平らな面に置き、粘着テープを切って開梱してください。



図 3

2. アクセサリーを取り出し、装置をダンボール箱から慎重に持ち上げます。



図 4

3. プラスチック製カバーを取り外します。



#### 注記

- ・ 輸送用段ボール箱と内部の保持材は、後で返送が必要になった場合に備えて保管しておいてください。装置を返送する際は、上記の手順を逆の順序で行います。



#### 4.4 装置のセットアップ

ウォーターバスは、単体で使用することも、最大2つのスライドドライヤーと組み合わせて使用することもできます。



図 5

ウォーターバスを単体で使用する場合



図 6

スライドドライヤーを右側面に接続した場合



図 7

スライドドライヤーを左側面に接続した場合



図 8

スライドドライヤーを背面に接続した場合

## 4 装置のセットアップ



図 9

2つのスライドドライバーを右側面に並べて接続した場合



図 10

2つのスライドドライバーを左側面に並べて接続した場合



図 11

1つのスライドドライバーを右側面に、もう1つのスライドドライバーを背面に接続した場合



図 12

1つのスライドドライバーを左側面に、もう1つのスライドドライバーを背面に接続した場合

## ウォーターバスとスライドドライヤーの接続

1. ウォーターバスとスライドドライヤーの底面にあるカバー(→ 図 13-1)をネジを緩めて取り外します(→ 図 13-2)。

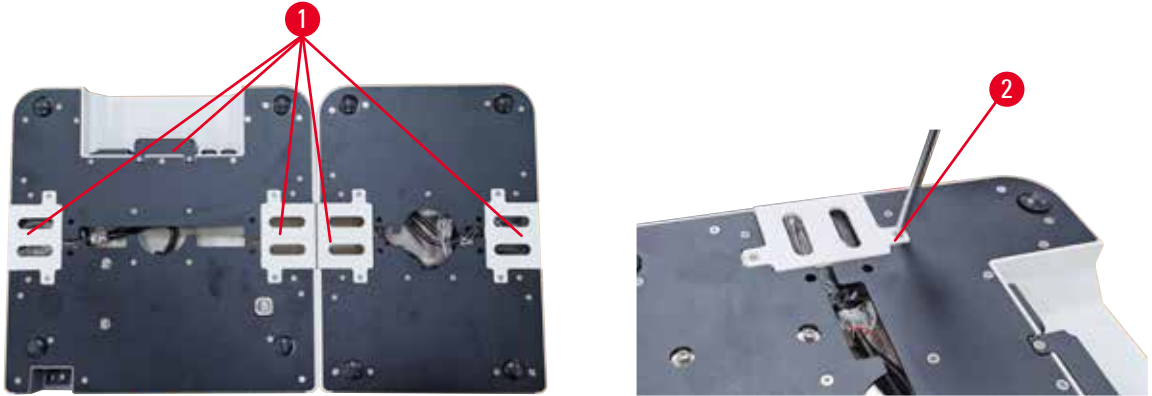


図 13

2. 両装置からケーブルを引き抜きます。ケーブルを接続します(→ 図 14-1)。カチッという音が聞こえるので、コネクタが相互に嵌合したことが分かります。2つのスライドドライヤーをウォーターバスの同じ側に並べて取り付ける場合は、ウォーターバスと外側のスライドドライヤーを接続するために延長ケーブルを使用します(→ 図 14-2)。



図 14

## 電源の設定

1. 電力ケーブルをつなぐ前に、装置前面のメインスイッチ(→ 図 15-1)が「0」(オフ)位置にあることを確認してください。



図 15

## 4 装置のセットアップ

- 必ず同梱の電力ケーブルのみを使用してください。電力ケーブルのコネクタを接続ソケット(→ 図 16-1)に差し込んでから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



図 16

1

### 4.5 装置のスイッチオン/オフ



#### 警告

他の装置と一緒に本装置のプラグを電源タップに差した場合

**不安定な電流/電圧が原因で装置が誤作動し、組織を損傷させる恐れがあります。**

- 電力ケーブルの設置に電源タップは使用しないでください。
- 本装置は必ずアース付き電源コンセントに接続してください。

#### 装置のスイッチオン

- 装置のスイッチをオンにする前に、ウォーターバスに十分な量の蒸留水を入れます。
- 装置の右前隅にあるメインスイッチを用いて、装置のスイッチを入れます。コントロールパネルの作動/停止ボタンが点灯します。
- この作動/停止ボタンを押すと、ウォーターバスとスライドドライヤー（接続されている場合）の加熱が始まります。

コントロールパネルの各ボタンの機能については、(→ ページ22 - 5.1 装置のコントロールパネル)を参照してください。

#### 装置のスイッチオフ

作動/停止ボタンを1回押すと、装置のスイッチが切れます。

普段の日常使いにおいては、毎回メインスイッチをオン/オフする必要はありません。

#### 4.6 装置の移動

装置のスイッチを切るとともに、装置を電源コンセントから切り離す必要があります。ウォータートレイは空になっていなければなりません。必ず装置が冷えてから、移動させてください。

**警告**

ユーザーがウォーターバスやスライドドライヤーを持ち上げているときに、落としてしまった場合

**装置やアクセサリがユーザーに倒れかかったり落ちたりして、負傷する危険があります。壊れたかもしれない装置またはアクセサリで切片を準備すると、組織を損傷させる恐れがあります。**

- ・ 装置を持ち上げる際は、十分に注意してください。

**警告**

スライドドライヤーが接続された状態でウォーターバスを移動させた場合

**接続ケーブルが破損して、スライドドライヤーがユーザーの上に落ちる危険があります。**

- ・ ウォーターバスを移動させる際は、事前にウォーターバスからスライドドライヤーを取り外してください。

**警告**

内部に高温の水が入っている状態で、ウォーターバスを移動させた場合

**水が飛び出して、人が滑って転んだり、高温水でやけどする危険があります。**

- ・ 加熱を止めて装置を空にしてから、移動してください。










## 5 操作




### 5. 操作

#### 5.1 装置のコントロールパネル



図 17

No.	インジケータ	説明
1	  	現在のモジュールを示します。 ウォーターバス 側面のスライドドライヤー 背面のスライドドライヤー、または、2つのスライドドライヤーが片側に並べて接続されている場合は、延長ケーブルで接続されている方のスライドドライヤー
2		現在のモジュールのリアルタイム温度
8	  	緑点灯 - 目標温度に達しています。 赤点灯 - ・水温が設定温度を超えています。 ・装置が誤作動状態です。 赤点滅 - まだ目標温度に達していません。 黄点灯 - 温度の設定が進行中です。
No.	ボタン	説明
3		下降ボタン ・ページ切り替え - このボタンを押すと、現在のモジュールのアイコンがウォーターバスとスライドドライヤーの間で切り替わります。 ・目標温度の引き下げ - 現在のモジュールの目標温度が表示されるまで、このボタンを長押しします。1回押した場合は、温度が0.1°Cずつ下降し、長押しした場合は、最初の整数に達した後、温度が1.0°Cずつ下降します。
4		上昇ボタン ・ページ切り替え - このボタンを押すと、現在のモジュールのアイコンがウォーターバスとスライドドライヤーの間で切り替わります。 ・目標温度の引き上げ - 現在のモジュールの目標温度が表示されるまで、このボタンを長押しします。1回押した場合は、温度が0.1°Cずつ上昇し、長押しした場合は、最初の整数に達した後、温度が1.0°Cずつ上昇します。

No.	ボタン	説明
5		セットボタン このボタンを1秒以上長押しすると、現在のモジュールの目標温度が表示されます。
6		作動/停止ボタン ・1回押し - システム全体に対する加熱のオン/オフを切り替えます。 ・長押し - スライドドライヤーに対する加熱のオン/オフを切り替えます。
7		LED 照明のオン/オフ

目標温度よりも高い温度の温水をウォータートレイに入れると、装置の使用に時間がかかる可能性があるので注意してください。

水の交換時にウォータートレイを誤って床に落とすと、ウォータートレイが破損して、水漏れが生じたり、加熱が遅くなったりする可能性があるので注意してください。

## 5.2 温度の設定

表示されている温度は、現在の実温度です。上昇または下降ボタンのいずれかを約2秒間押しすと、装置の温度が最後に記憶された目標値に設定されます。希望する温度に調整するには、以下の手順を実行します。

1. 上昇または下降ボタンのいずれかを、目的のモジュールアイコンが現れるまで押しします。
  2. 最後に記憶された目標値が表示されるまで、同ボタンを長押しします。
  3. 1回押しと、値が0.1°Cずつ上昇/下降し、長押しすると、最初の整数に達した後、値が1.0°Cずつ上昇/下降します。
  4. 希望する温度に達したら、同ボタンから手を離します。
- ✓ 表示されている値が自動的にメモリに記憶されます。この記憶された目標値は約2秒間表示され続けますが、その後、現在の実温度の表示に戻ります。

装置のスイッチ（作動/停止ボタンまたはメインスイッチのいずれか）を切った場合でも、万一停電や電源の切断が生じた場合でも、この目標値は記憶されたままになっています。

全てのモジュールが目標温度に達したときや、5分間どのボタンも押さなかった場合は、コントロールパネルの表示がオフになります。再度表示させるには、いずれかのボタンを2回押しします。



### 警告

ユーザーが切片を浮かべたり取り出したりする際に、誤って高温水に触れた場合  
**高温水でやけどする危険があります。**

- ・ 操作中は高温水に十分注意してください。



### 警告

ユーザーが誤ってスライドドライヤーの高温面に触れた場合  
**熱くなっているスライドドライヤーでやけどする危険があります。**

- ・ 操作中はスライドドライヤーの高温面に十分注意してください。



### 警告

水を交換するためにウォータートレイを取り外したとき、ウォーターバスの底部が露出した場合

**ウォーターバス底部の高温面でやけどする危険があります。**

- ・ 水の交換中は、ウォーターバス底部の高温面に十分注意してください。

### 5.3 スライドドライヤーの電源オン/オフ

作動/停止ボタンを1回押して装置の電源をオンにすると、ウォーターバスとスライドドライヤーの両方の加熱がオンになります。スライドドライヤーの加熱は、個別にオフにすることが可能です。スライドドライヤーをオフにするには、上昇または下降ボタンのいずれかを、目的のモジュールアイコンが現れるまで押します。次に、**OFF** と表示されるまで、作動/停止ボタンを長押しします。

スライドドライヤーをオンにするには、上昇または下降ボタンのいずれかを、目的のモジュールアイコンが現れるまで押します。次に、温度値が表示されるまで、作動/停止ボタンを長押しします。



## 6. クリーニングとメンテナンス

### 6.1 装置のクリーニング

- ・装置のクリーニングを行う際は、事前に装置のメインスイッチをオフにするとともに、装置を電源コンセントから切り離します。
- ・ウォータートレーの水を捨てます。
- ・必ず装置が冷えてから、クリーニングを行ってください。
- ・装置のクリーニングには、濡らした柔らかいティッシュペーパーを使用します。
- ・パラフィンの除去に適した洗浄剤も使用できます。
- ・有機溶剤（アルコールやキシレンなど）は使用しないでください。通常の実験用洗剤をお勧めします。

### 6.2 ヒューズの交換



#### 警告

装置のスイッチを切って電源プラグを抜くことなく、ヒューズを交換した場合 **電気ショックによって人身事故を引き起こす危険があります。**

- ・ヒューズを交換する際は、事前に装置の電源スイッチを切るとともに、電源コンセントからプラグを抜いてください。ウォータートレーの水を捨てます。



#### 注意

取扱説明書の「テクニカルデータ」の節に記載の仕様とは異なる、不正なヒューズを使用した場合

**不正なヒューズでは装置が正常に機能しないため、診断が遅れる恐れがあります。**

- ・取扱説明書の「テクニカルデータ」の節に記載の仕様に一致したヒューズのみを使用してください。

必ず同梱の交換ヒューズを使用してください。2つのヒューズの定格は同一でなければなりません（刻印をチェックしてください）。ヒューズの交換は2つ一組で行ってください。

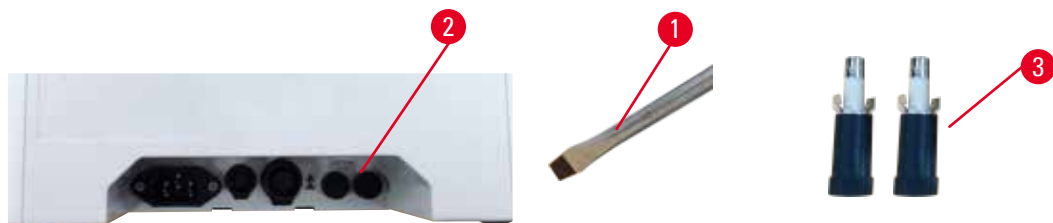


図 18

1. マイナスドライバー（→ 図 18-1）を使用して、ヒューズホルダー（→ 図 18-2）を 10 時の方向に回します。
2. ヒューズホルダー（→ 図 18-3）を慎重に引き抜きます。
3. 不良なヒューズを新しいヒューズ 2 個と交換します。
4. ヒューズホルダーを挿入し、マイナスドライバーで回して所定の位置に収めます。

## 7. トラブルシューティング

装置の状態	ユーザーの対処
<ul style="list-style-type: none"> <li>長い時間加熱しても目標の水温に達しない。常に赤ランプが点滅している。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ウォータートレー（特に下部の内表面と外表面）を徹底的に清掃します。</li> <li>装置のスイッチを切った後、再度スイッチを入れます。</li> <li>上記の2つの手順を行っても問題が解決しない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>常に赤ランプが点灯していて、加熱が停止している。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>水温が目標温度を超えている場合は、水温が下がるまで待ちます。</li> <li>装置のスイッチを切り30分間待ってから、装置のスイッチを入れます。</li> <li>上記の2つの手順を行っても問題が解決しない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>装置のスイッチが入らない。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヒューズの状態をチェックし、両方とも交換します。</li> <li>ヒューズを交換しても問題が解決しない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルに水漏れする。</li> </ul>	<p>ウォータートレーの水漏れの有無を確認し、カスタマーサービスまでご連絡ください。</p>

**8. 注文情報**

部品名	注文番号
HistoCore Slide Dryer	14 0607 010C0
延長ケーブルアクセサリ	14 0607 03001
着脱式ウォータートレイ	14 0607 03002

### **A1. 汚染除去証明書**

ライカバイオシステムズに返送する予定の製品、または現場で点検・修理を受ける予定の製品は、適切に清掃および汚染除去を行っておく必要があります。弊社ウェブサイト [www.LeicaBiosystems.com](http://www.LeicaBiosystems.com) の製品メニューの中には、関連する汚染除去証明書のテンプレートが用意されています。このテンプレートを用いて、必要事項を全て記入する必要があります。

製品を返送する際は、全て記入された署名入りの汚染除去証明書のコピーを同封するか、またはサービス担当員に手渡す必要があります。汚染除去証明書に全てが記入されていない状態、または証明書そのものがない状態で返送された製品に対しては、ユーザーが責任を負うものとします。弊社が潜在的危険源に分類している返送品は、発送人の費用およびリスク負担で発送人へ送り返されます。

## A2. 保証とサービス

### 保証

Leica Biosystems Nussloch GmbH は、納入された契約製品が、ライカの社内試験規格に基づく包括的な品質管理試験を受けていること、同製品に欠陥がないこと、ならびに、必要な技術仕様および/または合意した特性の全てに適合していることを保証します。

保証範囲は締結された契約の内容に基づきます。保証条件については、現地のライカ販売組織の条件、またはお客様が契約製品を購入した組織の条件が排他的に適用されるものとします。

### サービス情報

テクニカルサービスが必要な場合は、現地のライカ営業所、または当該製品を販売したディーラーまでご連絡ください。本装置のスペアパーツがない場合の保証については、テクニカルサービス情報（TSB）の段階的クレジットノートを介して対処されます。

装置に関する以下の情報が必要です。

- 装置の型式名とシリアル番号
- 装置の設置場所と窓口担当者名
- サービス要請の理由
- 納品日

### 廃棄および処分

本装置または本装置の部品は、それぞれの国/地域に適用される現行規定に従って廃棄しなければなりません。





www.LeicaBiosystems.com



Leica Biosystems Nussloch GmbH  
Heidelberger Strasse 17 - 19  
69226 Nussloch  
Germany

電話 : +49 - (0) 6224 - 143 0  
ファックス : +49 - (0) 6224 - 143 268  
Web: www.LeicaBiosystems.com

